

# みどりの学術賞 受賞記念講演会のお知らせ

平成 28 年 6 月 26 日（日） 13：30～16：20

日本科学未来館 未来館ホール（入場無料）

東京都江東区青海 2-3-6 （裏面の案内図をご覧ください）

主 催： 内閣府（みどりの学術賞及び式典担当室）

共 催： 日本科学未来館

## プログラム

13：00 開 場

13：30 開 会（主催者・共催者挨拶ほか）

受賞者講演（進行：みどりの科学コミュニケーター）

「森林と社会の歴史と可能性」（三井昭二 博士）

「藻類は地球史と生物進化の隠れた主役」（井上 勲 博士）

日本科学未来館における「みどりの学術賞」に関わる活動のご紹介

16：20 閉 会

※ 閉会后、みどりの科学コミュニケーターが館内をご案内するツアーを実施します。  
（定員 30 名。当日、先着順にて受け付けます。）

「みどりの学術賞」は、「みどりの日」についての国民の関心と理解を一層促進し、「みどりの日」についての国民の造詣を深めることを目的に、平成 18 年の閣議決定で創設され、今年で 10 年目を迎えました。

植物、森林、緑地、造園、自然保護など、「みどりの日」に関わる幅広い学術分野にご関心をお持ちの研究者、学生、一般市民の皆様のご参加をお待ちしています。

【 申込み 】 席に限りがありますので、以下のいずれかの方法でお申し込み下さい。

(1) 日本科学未来館ウェブサイトから（6月20日まで）

<http://www.miraikan.jst.go.jp/event/>

(2) FAX <送信先：03（3502）2887>（6月20日まで）

記載事項 ① 代表者氏名、所属団体名、電話及び FAX 番号

② 代表者以外の参加者の氏名、所属

また、「みどりの講演会申込み」と記載してください。

三井 昭二 (みつい しょうじ) 三重大学名誉教授



森林と社会との関わりについて、木材生産等の経済活動と自然環境の保全が調和し両立する新しい道筋を提起した。具体的には、森林を市民社会の共有資産すなわち「コモンズ」としてとらえ直し、林業関係者や山村住民だけでなく都市住民を含めた社会的協働による森林管理のあり方を示した。これを通じて、林業の担い手としての都市住民の参画の可能性、市民生活や教育の場としての森林の重要性など、森林・林業政策や森林と社会との関わり方について新たな方向性を提示した。また、多くの著作等を通じて森林づくり活動への市民の参加を呼びかけ、みどりに対する国民の理解増進に寄与した。

井上 勲 (いのうえ いさお) 筑波大学特命教授、筑波大学名誉教授



植物プランクトン的一种であるハプト藻類が、光合成により自ら栄養を作り出すだけでなく、ハプトネマと呼ばれる鞭毛のような細胞器官によって餌の粒子を細胞内に取り込むという動物的な栄養摂取(食作用)を行っていることを発見した。このほか、捕食性の生物が藻類を取り込み共生することで生まれ、植物になる進化の初期過程にあると考えられる重要な生物「ハテナ」を発見したことなどにより、藻類をはじめとする生物の多様性を生み出した進化の道筋の解明に大きく貢献した。また、大量の藻類画像データをウェブ上に公開し一般国民が閲覧できるようにするなど、みどりに対する国民の理解増進に寄与した。

みどりの科学コミュニケーターをよろしくお願ひします

内閣府(みどりの学術賞及び式典担当室)では、昨年度に引き続き、日本科学未来館の科学コミュニケーター3名を「みどりの科学コミュニケーター」に任命しました。今回の講演会をはじめ各種イベントやウェブサイトなどで「みどり」に関する情報発信の活動を行っています。



【会場アクセス】

- 新交通ゆりかもめ  
「船の科学館駅」下車 徒歩約5分  
「テレコムセンター駅」下車 徒歩約4分
- 東京臨海高速鉄道りんかい線  
「東京テレポート駅」下車 徒歩約15分
- その他(無料巡回バス「東京ベイシャトル」、路線バス、自家用車<有料駐車場あり>)  
→ 日本科学未来館ホームページをご覧ください。  
<http://www.miraikan.jst.go.jp/guide/route/>

お問い合わせ

内閣府 みどりの学術賞及び式典担当室 【兼 林野庁山村振興・緑化推進室】  
電話：03(3502)8243 FAX：03(3502)2887 (担当：今泉、佐藤、上原)  
みどりの学術賞ホームページ <http://www.cao.go.jp/midorisho/>